

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
高山村	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	教職員に対して、高山村の地域学校協働活動の取組や、学校運営協議会の意義や仕組みなどが十分に周知できていないことが課題となっている。	園・学校長と連携をはかり、学校職員に向けて、地域学校協働活動と学校運営協議会についての研修をする機会を設ける。	園・学校長と連携をはかり、学校職員に向けて、地域学校協働活動と学校運営協議会についての研修をする機会を設ける。	学校運営協議会において地域学校協働活動推進員による活動報告を行い、園・学校長に向けて活動への理解を図っている。また、年度初めに、地域学校協働活動推進員と教育委員会職員が、学校長に高山村の取組について説明をしている。	教職員が地域学校協働活動や学校運営協議会の意義を理解することで、地域人材や資源を生かした教育課程の実現が図れ、児童生徒の豊かな学びにつながる。	30	人	50人	50人	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 中学校において、校内研修の一環として高山村の地域学校協働活動とコミュニティ・スクールについての説明を行った。また、小学校においては、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールについてまとめた資料を配布し、活動についての周知を図った。そのことにより、学校職員から、例年行っていた活動に加え、新規の活動の相談依頼を受けるなど活動の充実へとつながった。